

秋田

地球温暖化問題と海洋汚染



秋田県秋田市



認定特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム

水と緑に恵まれた秋田の豊かな環境を 次世代に引き継ぐために

認定特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラムは、住民・市民団体・事業者が相互に協力・連携しながら、地球温暖化防止活動や環境保全に関する事業を行うとともに、子どもをはじめとする県民各層に対する環境教育及び環境保全活動を推進することにより、環境問題の解決と持続可能な循環型社会の形成に寄与することを目的として活動しています。

秋田県地球温暖化防止活動推進センターやあきたエコフェス実行委員会事務局としても活動しています。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について

上: 体験学習を始めます

下左: 水力発電キットを使う子どもたち

下中: 保健所職員による火力発電キットの実験

下右: 海洋ごみを調べる子どもたち

〒010-0951 秋田県秋田市山王5丁目7-6 林泉会館内

電話 018-853-6755

FAX 018-853-6765

E-mail mail@eco-akita.org

URL http://www.eco-akita.org/



活動紹介

小学校での 環境学習会の開催



風力発電キットを使う子どもたち



保健所職員による講話

プロジェクト概要

秋田地域振興局福祉環境部と連携し、男鹿市立船川第一小学校の5年生を対象として、地球温暖化防止及び環境保全の意識向上が図られるよう講話と体験活動を行いました。

講話では、「身近な環境問題」とは何かの問いかけから始まり、地球規模の環境問題として「地球温暖化」、「海洋汚染」へと繋げていきました。

体験実習1では、班ごとに分かれて発電キット(風力、水力)を使い発電の仕組みを学んでもらった後、職員による火力発電キットによる実験を行い、風力、水力との違いを考えてもらいました。

体験実習2では、プラスチックごみの挙動(マイクロプラスチックの発生)として、海岸に漂着したプラスチックと新品プラスチックとの硬さの違いや比重による浮き沈みの違いを体験してもらいました。

ESD実践のポイント

小学校での環境学習会の実施にあたっては、教育事務所の協力を得ながら進めています。

地球温暖化防止及び環境保全の意識を醸成するため、体験型の環境学習会を実施することで身近な環境の変化に気づき、環境問題への関心を高めることにより、家庭での3Rや節電が二酸化炭素の排出抑制につながることを理解してもらい、環境活動の取り組みを推進させることができます。

担当者からのメッセージ

子どもたちからは、街中のごみが川や海へ流れて海洋汚染や海の生き物の命に関わってしまっていることや、地球温暖化が世界中で問題とされている今だからこそ環境について考える機会になったなどの感想がありました。

これからも、子どもたちが身近な環境の変化に自分で気づき行動につなげていけるよう教育機関や行政と連携して取り組みを続けていきたいと思ひます。



事務局長
泉 公夫さん